

**第19期（2024年3月期）  
決算説明資料**

**2024年6月14日**



**阪神高速道路株式会社**

# 当期連結決算の概要

当社グループの当期の連結業績は、営業収益 **2,528億円**（前年同期比+26億円）、  
営業利益 **40億円**（前年同期比+16億円）、経常利益 **42億円**（前年同期比+17億円）、  
親会社株主に帰属する当期純利益は **25億円**（前年同期比+7億円）となりました。  
事業別の業績等の概要は、次のとおりです。

## 高速道路事業

- ◆ **料金収入**は1,782億円（前年同期比0.8%増）  
※通行台数が回復し、前年同期を上回りました。
- ◆ **道路資産完成高**は522億円（前年同期比3.3%減）
- ◆ **道路資産賃借料**は1,312億円（前年同期比0.2%減）
- ◆ **管理費用**は447億円（前年同期比0.5%増）
- ◆ この結果、  
**営業収益**は2,312億円（前年同期比0.1%減）  
**営業費用**は2,283億円（前年同期比0.8%減）  
**営業利益**は29億円（前年同期比105.9%増）  
となりました。

## 受託事業

- ◆ 国や地方公共団体等の委託に基づく道路の新設等の事業を受託したことにより、  
**営業収益**は154億円（前年同期比17.9%増）  
**営業費用**は155億円（前年同期比17.9%増）
- ◆ この結果、**営業損失**は67百万円  
（前年同期は営業損失63百万円）となりました。

## その他の事業

- ◆ 休憩施設の運営、駐車場施設の運営、道路マネジメント事業、事業者支援コンサルティング事業等を展開したことにより、  
**営業収益**は64億円（前年同期比9.1%増）  
**営業費用**は52億円（前年同期比7.1%増）
- ◆ この結果、**営業利益**は12億円  
（前年同期比18.5%増）となりました。

# 高速道路事業

単位：億円(単位未満切捨て)

## 主な増減内容

区 分		2024年3月期	2023年3月期	増減
営業収益	料金収入	1,782	1,768	+14
	道路資産完成高 (注)1	522	540	▲17
	その他売上	7	6	+1
		<b>2,312</b>	<b>2,315</b>	<b>▲2</b>
営業費用	道路資産賃借料	1,312	1,315	▲2
	道路資産完成原価 (注)1	523	540	▲17
	管理費用	447	445	+2
		<b>2,283</b>	<b>2,300</b>	<b>▲17</b>
高速道路事業 営業利益 (注)2		<b>29</b>	<b>14</b>	<b>+14</b>

- 営業収益
  - ・通行台数が回復し、一日当たり約71.4万台（前年同期比1.0%増）
  - ・料金収入は1,782億円（前年同期比14億円増）
  - ・道路資産完成高は、前期の大和川線事業完了に伴う反動等により、前年同期比17億円減の522億円

- 営業費用
  - ・協定に基づく道路資産賃借料は、前年同期比2億円減の1,312億円
  - ・管理費用は、前年同期比2億円増の447億円

(注) 1 道路資産完成高とは、完成した道路資産の高速道路機構への引渡額をいい、道路資産完成原価とは、当該道路資産の建設に要した費用をいいます。

(注) 2 高速道路事業の営業利益には、高速道路事業の利益剰余金を活用した、安全対策やサービス高度化に資する事業に伴う損失が含まれております。

単位：億円(単位未満切捨て)

## 主な増減内容

区 分		2024年3月期	2023年3月期	増減
受託事業	営業収益	154	131	+23
	営業費用	155	131	+23
	営業利益	▲0	▲0	▲0
その他の事業	営業収益	64	59	+5
	営業費用	52	48	+3
	営業利益	12	10	+1
関連事業 営業利益		11	9	+1

●受託事業  
 大阪市道高速道路淀川左岸線に係る  
 工事出来高の増等により、  
 営業収益は  
 前年同期比23億円増の154億円、  
 営業費用は  
 前年同期比23億円増の155億円となり、  
 営業損失は67百万円  
 (前年同期は営業損失63百万円)

●その他の事業  
 休憩施設の運営、駐車場施設の運営、  
 道路マネジメント事業、事業者支援コン  
 サルティング事業等を展開したことにより、  
 営業収益は  
 前年同期比5億円増の64億円、  
 営業費用は  
 前年同期比3億円増の52億円となり、  
 営業利益は12億円  
 (前年同期比1億円の増)

# 当期連結財務諸表の概要

単位：億円〔単位未満切捨て〕

## 連結貸借対照表

区 分	2024年3月期	2023年3月期	増減
資産の部	2,501	2,523	▲ 21
流動資産	1,977	1,998	▲ 20
(うち仕掛道路資産)	1,043	769	+274
固定資産	524	524	▲ 0
負債の部	1,875	1,932	▲ 56
流動負債	474	406	+68
固定負債	1,400	1,525	▲ 124
純資産の部	625	590	+35
株主資本	632	607	+25
資本金	100	100	-
資本剰余金	105	105	-
利益剰余金	427	401	+25
その他の包括利益累計額	▲ 7	▲ 16	+9

## 連結損益計算書

区 分	2024年3月期	2023年3月期	増減
営業収益	2,528	2,501	+26
営業費用	2,487	2,478	+9
営業利益	40	23	+16
営業外収益	1	1	+0
営業外費用	0	0	▲ 0
経常利益	42	25	+17
特別利益	0	0	▲ 0
特別損失	0	0	▲ 0
税金等調整前当期純利益	41	25	+16
法人税等	16	7	+8
親会社株主に帰属する 当期純利益	25	17	+7

# 2025年3月期 連結業績の見通し

単位：億円〔単位未満切捨て〕

区 分		2025年3月期 見通し	2024年3月期 実績	増減
営業 収益	高速道路事業	<b>3,202</b>	2,312	+ 890
	料金収入	<b>1,839</b>	1,782	+ 56
	道路資産完成高 <sup>(注)1</sup>	<b>1,363</b>	522	+ 840
	その他売上	<b>0</b>	7	▲ 7
	関連事業	<b>335</b>	219	+ 116
		<b>3,538</b>	2,528	+ 1,010
営業 費用	高速道路事業	<b>3,215</b>	2,283	+ 931
	道路資産賃借料	<b>1,355</b>	1,312	+ 42
	道路資産完成原価 <sup>(注)1</sup>	<b>1,383</b>	523	+ 859
	管理費用	<b>476</b>	447	+ 29
	関連事業	<b>330</b>	207	+ 122
		<b>3,545</b>	2,487	+ 1,058
営業 利益	高速道路事業 <sup>(注)2</sup>	<b>▲ 12</b>	29	▲ 41
	関連事業	<b>5</b>	11	▲ 5
		<b>▲ 6</b>	40	▲ 47
経常利益		<b>▲ 12</b>	42	▲ 54
税金等調整前当期純利益		<b>▲ 12</b>	41	▲ 54
法人税等		<b>5</b>	16	▲ 11
親会社株主に帰属する当期純利益		<b>▲ 17</b>	25	▲ 43

## 連結業績の見通し

親会社株主に帰属する当期純損失は、親会社の損失25億円に連結子会社の利益等7億円を加えた17億円となる見通しです。

なお、連結業績の見通しのうち、親会社の見通し額は国土交通大臣から認可を受けた令和6年度（2024年度）事業計画に基づいています。

(注) 1 道路資産完成高とは、完成した道路資産の高速道路機構への引渡額をいい、道路資産完成原価とは、当該道路資産の建設に要した費用をいいます。

2 高速道路事業の営業利益には、高速道路事業の利益剰余金を活用した、安全対策やサービス高度化に資する事業に伴う損失が含まれております。

3 2025年3月期の業績見通しには、不確定な要因を含んでおり、将来の業績等を保証するものではありません。実際の業績等については、様々な要因により変化するものであることをご承知おき下さい。

# 2025年3月期 個別業績の見通し

単位：億円(単位未満切捨て)

## 個別業績の見通し

区 分		2025年3月期 見通し	2024年3月期 実績	増減
営業 収益	高速道路事業	<b>3,202</b>	2,305	+897
	料金収入	<b>1,839</b>	1,782	+56
	道路資産完成高 <sup>(注)1</sup>	<b>1,363</b>	522	+840
	その他売上	-	0	▲0
	関連事業	<b>286</b>	165	+120
		<b>3,488</b>	2,470	+1,018
営業 費用	高速道路事業	<b>3,222</b>	2,293	+929
	道路資産賃借料	<b>1,355</b>	1,312	+42
	道路資産完成原価 <sup>(注)1</sup>	<b>1,383</b>	523	+859
	管理費用	<b>484</b>	457	+26
	関連事業	<b>283</b>	163	+120
		<b>3,506</b>	2,456	+1,050
営業 利益	高速道路事業 <sup>(注)2</sup>	<b>▲20</b>	12	▲32
	関連事業	<b>2</b>	2	+0
		<b>▲17</b>	14	▲32
経常利益		<b>▲24</b>	20	▲44
税引前当期純利益		<b>▲24</b>	20	▲44
法人税等		<b>1</b>	8	▲7
当期純利益		<b>▲25</b>	11	▲37

営業収益は、3,488億円  
 (前年実績比1,018億円増)  
 営業損失は、17億円  
 (前年実績は営業利益14億円)  
 当期純損失は、25億円  
 (前年実績は当期純利益11億円)  
 となる見通しです。

なお、見通し額は国土交通大臣から  
 認可を受けた令和6年度(2024年度)  
 事業計画に基づいています。

(注) 1 道路資産完成高とは、完成した道路資産の  
 高速道路機構への引渡額をいい、  
 道路資産完成原価とは、当該道路資産の  
 建設に要した費用をいいます。

2 高速道路事業の営業利益には、  
 高速道路事業の利益剰余金を活用した、  
 安全対策やサービス高度化に資する  
 事業に伴う損失が含まれております。

3 2025年3月期の業績見通しには、  
 不確定な要因を含んでおり、将来の  
 業績等を保証するものではありません。  
 実際の業績等については、様々な  
 要因により変化するものであること  
 をご承知おき下さい。

# グループ経営体制

(2024年3月31日時点)



## 【交通管理】

阪神高速パトロール(株)

## 【保全点検・維持修繕】

阪神高速技術(株)

内外構造(株)

(株)情報技術

(株)テクノ阪神

(株)ハイウェイ管制

阪神施設調査(株)

## 【調査・設計・積算等】

阪神高速技研(株)

(株)阪神 e テック

(非連結子会社)

はんしんどぼくぎじゅつしじゆんしゃんはいゆうげんこうし  
阪申土木技術諮詢(上海)有限公司  
※清算手続き中

阪神高速道路(株)



## 【関連事業】

(休憩所・駐車場・集客施設運営等)

阪神高速サービス(株)

(事業者支援コンサルティング事業)

阪高プロジェクトサポート(株)

(タイ国における公共インフラ等維持管理事業)

(持分法非適用関連会社)

エイサイアム・インフラ  
ASIAM Infra Co., Ltd.

## 【料金收受】

阪神高速トール大阪(株)

阪神高速トール神戸(株)





# 2023年度の主なトピックス

## 1. 近畿圏の新たな高速道路料金の導入

- \* 令和5年12月22日に国土交通省が公表した「近畿圏の新たな高速道路料金に関する具体方針（案）」に基づき、令和5年12月22日に「近畿圏の新たな高速道路料金の具体案」を公表。
- \* 高速道路料金の変更について、道路整備特別措置法第3条に基づき国土交通大臣の事業許可を受け、近畿圏の新たな高速道路料金を、令和6年6月1日（土）午前0時から導入。

### 新料金の概要

#### \* 料金体系の整理・統一

- ・対距離制を基本とした公平な料金体系の更なる前進に向け、新たな上限料金を設定。
- ・料金割引についても、整理・統一を図る観点等から、大口・多頻度割引の拡充や深夜割引を導入。

#### \* 起終点を基本とした継ぎ目のない料金の実現

- ・都心迂回経路の利用が料金の面で不利にならないよう、起終点間の最短距離を基本に料金を決定する都心迂回割引を導入。

# 2023年度の主なトピックス

## 2. ミッシングリンク解消に向けたネットワーク整備

\* ミッシングリンクの解消に向け、淀川左岸線（2期）（海老江JCT～豊崎）、淀川左岸線延伸部及び大阪湾岸道路西伸部（六甲アイランド北～駒栄）の整備推進に努めました。



# 2023年度の主なトピックス

## 3. 高速道路リニューアルプロジェクトによる長寿命化の推進

\*お客さまに最高の安全と安心を提供するため、構造物の長寿命化に向けた高速道路リニューアルプロジェクト（大規模更新・修繕事業）を推進しました。

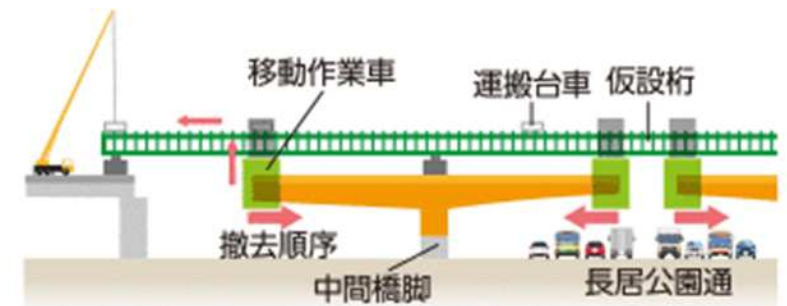
【大規模更新事業】14号松原線喜連瓜破付近及び15号堺線湊町付近において、工事を推進しました。

【大規模修繕事業】16号大阪港線（西行）阿波座付近において、縦目地構造の解消に向けた工事を推進しました。

3号神戸線（京橋～摩耶）において終日通行止めによるリニューアル工事を実施しました。

### 〔工事の進捗状況〕

2024年3月に既設コンクリート橋梁の撤去を完了しています。



既設コンクリート橋梁の撤去



既設コンクリート橋梁の撤去完了



# 2023年度の主なトピックス

## 4. お客様満足向上の取組

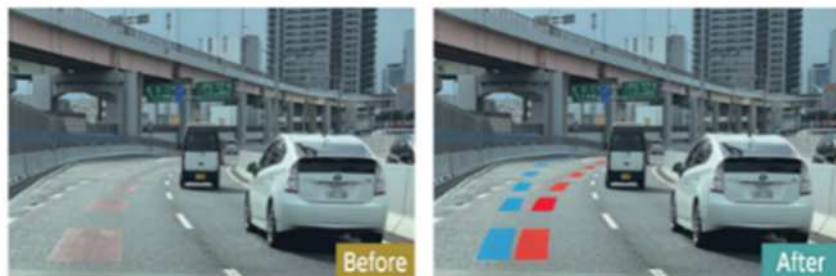
\* お客様にもっと“安全・安心・快適”を実感し、ご満足いただくための様々な施策の取組をまとめた『お客様満足アッププラン』を継続的に実施することで、ますますのお客様満足の上昇に努めました。

### もっと走りやすく！

#### ○京橋(西行)出口・PAへの案内改善

##### ■カラー舗装(青色)追加等による改善

京橋(西行)出口と京橋PA入口が近接していることから、案内改善のため神戸線リニューアル工事において、本線手前からカラー舗装(青色)を追加しました。また案内標識もカラー舗装と連動した標識板に取り替えました。



京橋パーキングへの誘導を促すカラー舗装 京橋出口への誘導を促すカラー舗装

#### BEFORE



#### AFTER



#### ○京橋入口の案内改善

##### ■超高輝度材料の採用等による改善

京橋入口の電光掲示板が老朽化していたため、より視認性の高い超高輝度反射材料を用いた看板に取り替えました。また、進行方向をさらにわかりやすくするため、橋脚に進行方向を表示する案内看板も設置しました。

#### BEFORE



#### AFTER



# 2023年度の主なトピックス

## 5. 関連事業の展開

- \* 阪神高速グループにおいてこれまで培ってきた技術・ノウハウを活用し、**周辺の自動車専用道路等の一体的管理、構造物点検、補修業務や海外事業を含む技術・補償コンサルティング事業**を実施しました。
- \* 社会のニーズに応えるため、高架下等の道路空間を有効に活用した**駐車場事業**、お客さまサービス向上を目指した**休憩所事業**、保有資産の有効活用をはじめとした**不動産事業**等を展開しました。

### 〔高速道路の維持管理等の技術・ノウハウを活かした事業展開〕

- 地方公共団体が管理する道路橋等の耐震補強設計業務や点検業務を受注
- 道路や鉄道など公共インフラの用地取得支援業務を地方公共団体等から受注

### 〔周辺の自動車専用道路等の一体的管理受託〕

- 大阪港咲洲トンネル・夢咲トンネル（大阪市）の管理運営を受託

### 〔海外事業の展開〕

- アジア、アフリカを中心にJICA等からの国際コンサルティング業務を実施  
⇒ 2023年度は、新たに1案件を受注
- タイで、公共インフラ等維持管理を行う合併会社「ASIAM Infra」を設立



ケニアからの研修生受け入れ  
(2023.11-12)



ASIAM Infra 設立式典  
(2023.7)

### 〔休憩所事業の展開〕

- PAにおいて、レストラン・売店を運営。一部の、無人PAにおいては、自販機コンビニを設置し、お客さまへ軽食の提供を実施

### 〔道路空間や資産の有効活用〕

- 駐車場事業：高架下等の約300箇所でも月極・時間貸駐車場を展開  
⇒ 2023年度から、月極駐車場等の空枠をアプリで事前に予約して利用できる駐車場予約サービス「リザパー」を展開中
- 不動産事業：賃貸住宅事業や事業用定期借地等を展開  
⇒ 2023年度は、新たな事業用定期借地物件を1件取得



駐車場予約サービス「リザパー」



阪高ファインパーク敷津東第1  
(阪神高速高架下)

◆本資料には将来の予測や見通しに関する記述が含まれておりますが、こうした記述は将来の業績等を保証するものではありません。将来の業績等は経営環境の変化などにより、目標と異なる可能性があることにご留意下さい。

【お問い合わせ】



阪神高速道路株式会社 経理部経理課

〒530-0005 大阪市北区中之島3-2-4 中之島フェスティバルタワー・ウエスト

TEL: 06-6203-8888(代)

FAX: 06-6203-8313

URL: <https://www.hanshin-exp.co.jp>